

平成28年度

事務事業評価表 A（平成27年度の実績評価）

記入年月日
平成 28 年 3 月 11 日

Table with columns for project name, classification, and budget details. Includes 'コミュニティスクール事業' and '生涯学習推進事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with two main columns: ①事務事業の概要 (Overview) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks and Procedures). Includes details about the community school project.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators (手段, 対象, 意図) and their trends from 2014 to 2030. Includes metrics like '活動指標' and '成果指標'.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table detailing input costs (投入量) and personnel costs (人員費) from 2014 to 2030. Includes categories like '国庫支出金' and '人件費'.

Table showing the internal breakdown of project costs (事業費の内訳) for 2017 and 2018, including '負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing the implementation content (実施内容) for 2018, 2019, and 2030. Includes a list of activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	コミュニティスクール事業	事務事業No.	30301000651	所属課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併以前から真壁地区において学校週5日制に対応し、地域における児童生徒の学校外活動の機会充実のために平成9年度から実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 真壁地区の実行委員会における協議の中で、子ども達の主体的な発案による事業実施を目指して展開・活動していくよう意見が出ている。また、ボランティア活動、及び自分たちの地域を知り、郷土に誇りを持つような活動を取り入れる等、今後の事業の在り方についての意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域住民の本事業への参加は、地域の子どもは地域で守り育てるという地域教育力の育成、意識啓発に資するものであり、ひいては、求める市民の役割である自らの地域は、自分らが作るという住民自治意識の充実が期待できるものである。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	総合計画(次世代を担い、健康で明るく意欲ある人材を育成する「明日を支えるひとづくり」)の中で謳っている「豊かな心」を養い、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進するために必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	各小学校が地域と連携し主体的に取り組む体制がすでにできており、実行委員会は円滑に運営されている。しかしながら、各地区の事業内容が前年度の事業を踏襲する傾向があり、事業内容の見直しが必要である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	本事業は地域住民の交流の場でもあり、地域教育力の啓発に資する事業でもある。また、青少年育成桜川市民会議真壁支部の基幹事業でもあるため、廃止した場合は影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的手段、事務事業名 他の地区との類似事業との統廃合は今後の検討課題だが、当該事業は主に真壁地区小学校区で実施しているため、独自性があり容易に達成することは困難である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	一般財源及び青少年育成桜川市民会議真壁支部からの助成金のほか、参加者・地域住民の寄付や材料等の持ちよりで賄っているため、削減の余地はない。また、現場確認、記録、その他の支援は必要であり、更なる人件費を削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	P T A はじめ地域住民が主体となっている実施している事業であるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本年度は市補助金298千円に対し1回当たりの事業費は21,290円である。真壁地区は、青少年育成桜川市民会議真壁支部からの助成金のほか、多くの事業を実施しており、不足金が生じた場合は参加者、地域住民の寄付、材料等の持ち寄りによって賄われていた現状である。今後は予算を要しない事業への取り組みについて検討を要すると思われる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 真壁地区のみならず、将来的には市内全小学校区へ拡充されるような取組みが求められている。また、事業のマンネリ化を打破するためには、他市町村等の事業状況を把握し参考にするなど、関係者が各種情報を共有する必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>